

製品名: エポダイ (EPODYE)
最終改訂日: 2019-12-06
文書番号: M0054

ページ数: 1/8
印刷日付: 2019-12-06
安全データシート整理
番号: JP-JA/18.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名: エポダイ (EPODYE)
カタログ番号 40300002

CAS番号 19125-99-6

EC 番号: 242-828-7

"官報公示整理番号" / "化審法
番号": -

容器サイズ: 20 g

推奨用途及び使用上の制限

用途: 蛍光顕微鏡検査法用の樹脂包埋の粉末染料。

使用上の制限: 使用してはならないとされる用途は特にない。 (*)

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者: ストルアス社 (Struers ApS)
Pederstrupvej 84
DK-2750 Ballerup
Tel:+45 44 600 800

国内供給者: 株式会社ストルアス
〒141-0022東京都品川区東五反田3-14-13
高輪ミュージビル1F
ソリューションセンター
Tel:03-5488-6207
Fax:03-5793-1081

安全性データシートのオーサ
リングを担当。 安全性データシートのオーサリングを担当。 DHI
この安全性データシートの内容に対する質問の宛先はこちら :
struers@struers.dk

緊急連絡電話番号

公益財団法人 日本中毒情報センター (JPIC): 大阪中毒110番 (365日 24時間対
応) 072-727-2499, つくば中毒110番 (365日 9時 ~ 21時対応) 029-852-9999.

03-5488-6207 (株式会社ストルアス)
(営業時間のみ)

安全データシート

製品名:	エポダイ (EPODYE)	ページ数:	2/8
最終改訂日:	2019-12-06	印刷日付:	2019-12-06
文書番号:	M0054	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

2. 危険有害性の要約

化学品の分類

JIS Z 7253:2012に基づき分 製品は分類されていない。

類:

ラベル要素

本物質/混合物は分類およびラベル表示基準に合致しない。

他の危険有害性

微粒子は、爆発性蒸気/空気混合物を生成することがある。皮膚への接触は、軽度の刺激を起こすことがある。粉塵は、目及び呼吸系を刺激することがある。

PBT/vPvB: 使用可能な情報は無い。

3. 組成及び成分情報

化学物質

本製品は下記を含む： 顔料。

JIS Z 7253:2012に基づき分類:

%:	CAS番号	EC 番号:	"官報公示整理 番号" / "化審 法番号":	化学名:	危険有害性 ID	注:
100	19125-99-6	242-828-7	5-5025	黄色染料 (C.I.Solvent Yellow - 43)		

4. 応急措置

応急措置の説明

吸入:	新鮮な空気のある場所に移し、安静を保つ。
皮膚への接着:	汚染された衣服を脱がせ、水で皮膚を十分にすすぐ。
眼に入った場合:	粉塵発生作業中に刺激が発生した場合は、大量の水で最高15分間洗い流す。
経口摂取:	直ちに口をすすぎ、大量の水を飲む。被災者を観察下に置く。意識を喪失した場合は、これらの指示を持参して病院に搬送する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 / 影響: 健康に関する影響と症状の詳細については項目11を参照してください。

医師に対する特別な注意事項

医学的措置 / 治療: 症状を治療する。

安全データシート

製品名:	エポダイ (EPODYE)	ページ数:	3/8
最終改訂日:	2019-12-06	印刷日付:	2019-12-06
文書番号:	M0054	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

5. 火災時の措置

消火剤

消火剤: 周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。

火災時の特有の危険有害性

特殊な危険有害性: 加熱及び火災により、毒性蒸気/ガスが生成されることがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護具: 消火時の呼吸保護の選択: 職場で指定された一般的火災対策に従う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急社員用: 皮膚及び目への接触を避ける。粉塵の吸入を避ける。保護措置に関しては項目 8 を参照。

緊急対応要員用: 推奨事項は特になし。保護措置に関しては項目 8 を参照。

環境に対する注意事項

環境対策: 環境への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法: 水で漏洩物を湿らせる。漏洩物は吸湿材で吸収する。

その他の節の参照

参考資料: 保護措置に関しては項目 8 を参照。廃棄物処理に関しては項目 13 を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全な取扱いに関する勧告: 皮膚及び目への接触を避ける。粉塵吸入を避ける。化学物質の適切な取扱いと衛生習慣を守る。

技術的措置: 塵埃の拡散を避ける。作業時は、接触を最小限に抑えなければならない。

技術対策: 局所排気を推奨する。

保管

安全な貯蔵に関する技術的措置: 静電気放電の予防対策を講じる。

貯蔵状態: 密閉した元の容器で、乾燥した場所に貯蔵する。

具体的な最終用途

具体的な用途: 使用可能な情報はない。

安全データシート

製品名:	エポダイ (EPODYE)	ページ数:	4/8
最終改訂日:	2019-12-06	印刷日付:	2019-12-06
文書番号:	M0054	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

職業暴露限界:

CAS番号	化学名:	下 記の状 態とし て:	暴露限界:	タイプ:	注:	リファレン ス:
-	その他の無機および有 機粉塵 (吸入性粉塵)	-	2 mg/m3	-	-	JSOH
-	その他の無機および有 機粉塵 (総粉塵)	-	8 mg/m3	-	-	JSOH

設備対策

<u>設備対策を:</u>	適正な換気を供給する。職業暴露限界を守り、粉塵吸入リスクを最小化する。 局所排気を推奨する。
<u>人体の保護:</u>	個人用保護具は、各国の関連規格に準拠し、個人用保護具供給者と相談して選 定しなくてはならない。
<u>呼吸用保護具:</u>	粉塵発生作業中: タイプ P2 の粒子フィルター付き呼吸装置を使用する。
<u>手の保護具:</u>	接触のリスク: 保護手袋を着用する。手袋材料の浸透時間について情報を提 供できる手袋供給者と協力し、最適な手袋を選ばなければならない。(*)
<u>眼の保護具:</u>	接触のリスク: ゴーグル/顔面シールドを着用する。
<u>皮膚及び身体の保護具:</u>	接触する場合は、エプロンまたは保護衣を着用する。
<u>環境暴露管理:</u>	該当なし。

安全データシート

製品名: エポダイ (EPODYE)
最終改訂日: 2019-12-06
文書番号: M0054

ページ数: 5/8
印刷日付: 2019-12-06
安全データシート整理番号: JP-JA/18.0

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理化学的特性に関する情報

形態: 粉末。
色: イエロー
臭い: 無臭
臭気閾値: 該当なし。
pH: 該当なし。
融点: 125-129°C
沸点: 該当なし。
引火点: 該当なし。
蒸発速度: 該当なし。
可燃性 (固体、気体): 該当なし。
爆発性: 該当なし。
蒸気圧: 該当なし。
蒸気密度: 該当なし。
比重: 0.56
溶解性: 非水溶性
分配係数 (n-オクタノール/水): 該当なし。
自然発火温度 (°C): 該当なし。
分解温度 (°C): 該当なし。
粘度: 該当なし。
爆発性: 該当なし。
酸化特性: 該当なし。

その他のデータ

他のデータ: 揮発性有機化合物 (VOC) : 0 g/l

安全データシート

製品名:	エポダイ (EPODYE)	ページ数:	6/8
最終改訂日:	2019-12-06	印刷日付:	2019-12-06
文書番号:	M0054	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性: 使用可能なデータはない。

化学的安定性

安定性: 通常の温度条件の下で安定。

危険有害反応可能性

危険有害な反応: 通常の条件下ではなし。

避けるべき条件

避けるべき状態/物質: 強酸および強塩基。
粉塵の生成を避ける。

混触危険物質

不適合物質: 使用可能な情報はない。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物: 加熱により、健康に対し危険有害性がある蒸気/ガスが生成されることがある。

11. 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

急性毒性 (経口): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (経皮): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (吸入): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

眼に対する重篤な損傷性
又は眼刺激性 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

呼吸器または皮膚感作性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

発がん性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖毒性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (単回曝露): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (反復曝露): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸入した場合 粉塵は、喉及び呼吸系を刺激して咳を起こすことがある。

皮膚への接触: 長期接触は、発赤、刺激及び乾燥皮膚を起こすことがある。

眼に入った場合: 目に粉塵が入ると、刺激を起こす。

経口摂取: 刺激し、倦怠感を起こすことがある。

特有の影響: 使用可能な情報はない。

安全データシート

製品名:	エポダイ (EPODYE)	ページ数:	7/8
最終改訂日:	2019-12-06	印刷日付:	2019-12-06
文書番号:	M0054	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性: 製品は環境に危険有害性があるとされていない。

残留性・分解性

分解性: 製品の分解性は表明されていない。

生態蓄積性

生物濃縮性: 生物濃縮性に関する使用可能なデータはない。

土壤中の移動性

移動性: 使用可能なデータはない。

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。

その他の有害影響

その他の有害影響: 使用可能な情報はない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

汚染容器及び包装: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

14. 輸送上の注意

製品は、危険物輸送に関する国際規制 (IMDG、IATA) で網羅されていない。

国連番号

UN 番号: -

品名

品名: -

国連分類

国連分類: -

容器等級

PG: -

海洋汚染物質

海洋汚染物質: -

環境有害物質、固体: -

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

特別な注意事項: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送: 該当しない。

安全データシート

製品名:	エポダイ (EPODYE)	ページ数:	8/8
最終改訂日:	2019-12-06	印刷日付:	2019-12-06
文書番号:	M0054	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

国内規制: 化審法
JIS Z 7252:2014. GHS に基づく化学物質等の分類方法.
JIS Z 7253:2012. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の 伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び 安全データシート (SDS)
許容濃度等の勧告 (2018 年版)

16. その他の情報

使用者は、正しい作業手順について指示され、これらの指示書の内容に精通していなければならない。

以下の項目は、改定または新たな記述を含む。 : 1, 8.

(*)は、前バージョンからの変更を示す。

DHIによって認可。

Allan Vorup

安全データシートに使用した略語及び頭字語: PBT = 難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質。
vPvB = 高残留性、高蓄積性を有する物質。

その他の情報: GHSによる分類:
計算方法。

本データシートの情報は当社の最新のデータであり、本製品が規定された条件下で、かつ、パッケージおよび/または技術手引文書に指定された適用方法に従って使用されれば、信頼できるデータである。本製品を他の製品や他のプロセスと組み合わせて使用するなど、規定外の使用をした場合はその使用者が責任を負うものとする。

DHI-環境毒物学部によって制作された文書、DHI現住所: Agern Allé 5、DK-2970 Hørsholm、デンマーク。
HP : www.dhigroup.com.